

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	通信会社（経営者）	お客様の様子	・Webサイトの新規制作などのコンペに声のかかる機会が多くなってきている。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・不動産相場の上昇が確実に進んでおり、しゅん工済みの販売物件で値上げが行われる例もみられた。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・客の様子をみると、価格に対しての抵抗感が薄れ、多少高価な物も購入するようになった。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・進物用の購入が多いが、五月人形でも一般玩具でも質の良い物を選んでいる。購入に対するちゅうちょはあまりなく、予算も今までより10～20%は増加している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・3、4月と季節商品は苦戦しているが、これは気温が低かったという特殊要因によるもので、時計や宝飾品、美術品などの高額商品の動きは依然として好調である。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・生鮮関係の販売量が伸びており、特に高額商品の動きが良い。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・4月になってブランド商品の新製品が導入されたため、100万円前後の商品の動きが増えている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・開業医などからの呉服や絵画といった高額商品の引き合いが増えてきている。希少価値のある高額品をできる限り安く買いたいという客が増えている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客1人当たりの単価が上がっており、売上も上向きになってきている。4月は気温が大きく上がらなかったため、衣料品の売行きが悪いものの、その分を食料品や生活用品でカバーしている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車業界は3月決算なので、3月は例年忙しい時期であるが、今年は4月になってからも高水準の売上が続いている。特に、新車販売が好調である。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・個人客の来店も増えており、販売にも明るさがあるが、主力の飲食店向け商品の荷動きは連休前の駆け込み需要も少なく、引き続き極めて低調な状態にある。
		その他専門店〔医薬品〕（販売担当）	販売量の動き	・わずかではあるが販売量が増えている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・桜の開花時期が例年よりも遅れたことで、観光客も月半ばまで途切れることはなかった。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ばらつきはあるものの、来客数が若干増減しながら推移している。客単価の動きも日によって多少上下しているが、若干上昇傾向となっている。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・1、2月が最悪だったので、それに比べればやや良くなっている。ただ、1、2月に比べれば良くなっているだけで、景気が上向いているという実感は全くない。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・料理を追加で注文する客が増えてきたほか、高価格の客室から予約が入る傾向がみられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊をはじめ宴会、会議共に前年の売上を大きく上回っている。特に法人利用の伸びが大きく、社員研修のほか例年より単価が上昇した宴会も増えているなど好調である。昨年の愛知万博によるマイナス分も上回っているほか、周辺のホテルも同様に売上を伸ばしている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新入社員の入社式参加に伴う宿泊利用が増加し、前年を上回った。
		都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・宿泊、レストランは3か月前と比べてあまり変化はないが、宴会件数が大幅に伸びてきている。特に直前になってからの宴会の申込が多くなっている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・海外旅行の予約受付が前年比で2けた以上の伸びを示している。

旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークの旅行に対する直前申込がまだ続いている。それも低価格商品だけではなく、アメリカ方面やヨーロッパ方面などの高額商品にも問い合わせが続いている。休みの日数などが確定し、せつかなので予算が高めの旅行に行こうという人が増えている。	
タクシー運転手	お客様の様子	・昼間の客による乗車回数の回復傾向は依然として続いている。夜間についても、いくらタクシーを流しても客がないという状況が少なくなってきた。	
タクシー運転手	来客数の動き	・ハイヤーの利用に対する申込件数は増えているが、今までとは違って1日貸切りではなく必要な時間だけ使うといった形で、細かな利用が増えている。	
通信会社（社員）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの開催に向けてテレビの購入が増加し、それに伴ってテレビサービスへの加入が順調に増えている。また、4月に開始した光ファイバーサービスへの申込なども順調である。	
ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・昨年と比べて雨が多いなど天候が不安定であったものの、客単価や来場者数が改善している。	
その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	販売量の動き	・先月ほどではないが、いろいろなジャンルの催事が入っており、ホール全体の売上も良くなっている。	
その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	単価の動き	・集客状況にはまだばらつきがあるが、飲食、物販共に単価はやや上昇傾向である。	
その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	販売量の動き	・レンタル、物販共に前年の売上を順調にクリアした。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・神戸市内のマンション販売は、高額な案件でも順調に契約がみられるほか、販売不振であったニュータウンの戸建物件にも客が戻ってきている。	
住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・マンション販売価格が上昇しているものの、販売状況は比較的堅調である。	
その他住宅〔展示場〕（従業員）	来客数の動き	・4月の展示場来場組数は前年比で2割増加したほか、1年以内に家を建てたいという客が増えてきている。	
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が安定しないので売上が上下する。
	一般小売店〔花〕（経営者）	それ以外	・気温の低い日が続いているため、商品の出荷時期が例年より遅れている。また、季節商品の仕入価格が高くなり利幅が縮小している。
	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	来客数の動き	・新年度に入り客の動きが活発になると期待したが、わずか2週間ほどで活発さは消えて、普段どおりの動きとなった。商店街も閑散としている。
	一般小売店〔食料品〕（経営者）	競争相手の様子	・経営資源の豊富な大手企業にとっては良い状況かもしれないが、経営資源の乏しい中小零細企業にとっては大手との競争が激化し、差別化が難しくなっている。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・今月は月前半に掛け時計や目覚まし時計の需要が集中し、入学式の直前には腕時計などの需要も増えたが、単価は上がっていないほか、月後半の閑な状況を合わせると、月全体の販売量、売上共に楽観視できる水準ではない。
	一般小売店〔精肉〕（管理担当）	それ以外	・4月は決算直後でもあり、3月後半より商品の動きが良かったが、その一方で牛肉の高騰が続いて利益が確保しにくくなってきている。売価に原料の高騰分を反映させる勇気がまだ持たないため、社内で経営努力を続けている。
	一般小売店〔精肉〕（営業担当）	来客数の動き	・4月に入って気温も上昇し、客足が伸びるはずであったが、寒の戻りや雨などにより客足が鈍い。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は多いものの、成約件数が非常に少ない。

一般小売店〔衣服〕(経営者)	来客数の動き	・今月も天候が不順となったことで、来客数も売上も悪化しているが、雰囲気的には明るい。
一般小売店〔野菜〕(店長)	お客様の様子	・値段が高くなると相変わらず売行きが悪くなり、安い物しか売れなくなる状況である。
一般小売店〔自転車〕(店長)	お客様の様子	・景気の良いときには故障したら買い換える人が多かったが、今は故障時に商品を買換えるよりも、修理を依頼する人が多い。
一般小売店〔カメラ〕(販売担当)	来客数の動き	・売上は横ばいであるが、来客数が減少している。客単価は上がっているにもかかわらず、売上が伸びない。
百貨店(売場主任)	お客様の様子	・気候が不安定で春物衣料は不調であったものの、客は魅力のある商品であれば積極的に購入しており、商品によっては前年より売上を伸ばしている。
百貨店(経理担当)	お客様の様子	・4月は天候不順もあって来客数も少なく、初夏物の売行きが悪く、婦人ヤング、ミセス向け共に非常に苦戦した。一方、家電では薄型テレビや紳士時計、宝石のブランド品の売行きが好調に推移している。
百貨店(統括)	販売量の動き	・4月の気温が低く、衣料品関連の売上は前年を大幅に下回ったが、食料品や住関連の売上は3か月前と比べると良くなっている。
百貨店(サービス担当)	お客様の様子	・春物衣料の婦人服を中心に売行きは好調である。また、デパ地下商材の売行きも好調に推移しているが、全体的に活気がない。
百貨店(売場担当)	来客数の動き	・3月は売場改装効果により来客数が増加し、売上は好調に推移したものの、4月に入り天候不順となったほか、気温が思うように上昇しなかったことから春物の動きが芳しくない。
スーパー(経営者)	お客様の様子	・競合店が多く、客はその日の広告で左右されるため、相変わらず厳しい状態が続いている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・気温や天候の影響も大きいですが、衣料品や住居関連商品を中心に来客数の減少が著しく、セール時の需要にも力強さが欠ける。ただし、花見などの身近な行事に伴う需要はおう盛である。
スーパー(経理担当)	販売量の動き	・3月に続き、4月の売上も堅調に推移している。天候不順の影響があったものの、予定を上回る状況である。
スーパー(経理担当)	お客様の様子	・競合店との間を行き来する客の買い回り傾向が依然強いほか、果物の相場安が続いており、全体の売上が伸びない。さらに、加工食品の単価下落が影響している。
コンビニ(経営者)	お客様の様子	・来客数は微増となったが、客単価は逆に若干低下した。ランチタイムの弁当の売上が若干減少し、カップめんの売上がやや増えたことが、客単価の下がった要因となった。
衣料品専門店(経営者)	単価の動き	・来客数はやや増加しているが、平均単価が落ちている。
家電量販店(経営者)	お客様の様子	・客の財布のひもは依然として固く、必要な物を見極めて購入するほか、家電製品については買換えサイクルが長くなっている状況に変化はない。
家電量販店(企画担当)	単価の動き	・液晶テレビやDVDなどAV商品の単価下落が激しく、それに代わる単価アップ商品がない。
乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・景気の回復で新車の購入が活発になれば、中古車の買取り台数も当然増加するはずであるが、現状は伸び悩んでいる。
乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・雨が多くて春らしさを感じられず、気が晴れ晴れとしないせいか、客の動きが鈍い。
その他専門店〔宝石〕(経営者)	お客様の様子	・今月は例年に比べると気温が低く、特に週末の天候が悪いため来客数は少ない。春夏物の売上は伸びていないが、以前から進めている買取りや下取り、リフォーム、リペアなどが収益を押し上げている。
その他専門店〔医薬品〕(経営者)	単価の動き	・買上点数に変化はないが、客単価が前月比で2%伸びている。特に、コスメ関連商品の動きが良くなってきている。
一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・過当競争もあって来客数は伸びていないものの、客単価が高くなっているなど、低価格品に流れる動きがやや変わってきた。

	観光型旅館（団体役員）	お客様の様子	・来客数は昨年よりも増加しているが、一昨年前の水準には達していない。さらに、宿泊施設の料金帯見直しや首都圏からの送迎バスの運行など、来客数の増強が図られているため、現在の状況が景気の回復によるものかどうかは判断が難しい。
	都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・宿泊は春休み期間の動きが好調で、個人、団体共に順調である。特にアジアからの団体客が多い。一方、宴会は婚礼が前年より5組のマイナスで、企業関係の一般宴会も例年より取り込みが少ないなど大変厳しい状況である。
	旅行代理店（店長）	来客数の動き	・来店件数などをみると、国内旅行は前年の愛知万博の影響もあり、前年比で10%程度落ち込んでいるが、販売額では前年並みとなっている。一方、海外旅行については前年を若干上回る傾向にある。
	タクシー会社（経営者）	お客様の様子	・繁華街は若干にぎわいが出てきたが、バスや電車などの公共交通機関を使って帰る人が大半で、タクシーを利用するまでには至っていない。
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・春商戦の盛り上がりが例年に比べて小さい。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数はやや増加傾向にあるが、購入単価は逆にやや低下していることから、全体の売上に変化はみられない。
	美容室（店員）	お客様の様子	・ゴールデンウィークも海外より近場で過ごす人が多いなど、客の様子にあまり変化はないが、客単価は高くなってきている。
	その他サービス 〔学習塾〕（経営者）	来客数の動き	・2月に行った無料体験キャンペーンへの参加者の入会率が良かったため、生徒数が昨年に比べて約1割多くなっている。今月から週3日の授業数を週4日に増やした。
	その他サービス 〔フィットネス クラブ〕（スタッフ）	来客数の動き	・入会金無料のキャンペーンを行っているが、新規会員数がなかなか思うように増えない。
	住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・日銀によるゼロ金利解除を控えた駆け込み需要を期待したが、現在まであまり動きがみられない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・悪いままで変化がない。春商戦も結果が出ず、大変厳しい結果が続いている。
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・3、4月は販売量、売上金額共に前年割れである。
	一般小売店〔コーヒー〕（営業担当）	単価の動き	・原油価格高騰の影響で各種商品の値上げを決定したため、売上に変化はないものの販売件数の減少がみられる。値上げ前に一時的な駆け込みの注文はあったものの、しばらくは買い控えが続く。
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・宝飾品や食料品などの売上はやや上向き傾向にあるものの、気温の低さや雨が多いといった理由で、衣料関係の売上が非常に悪いことから、全体的にみるとやや悪い状態である。
	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・年明けまでは好調だった外商での法人需要であるが、勢いに陰りがみられる。
	スーパー（広報担当）	販売量の動き	・気温が低かった影響で、衣料品や住関連品の季節品を中心に苦戦した。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・コンビニエンスストア業界全体の売上が、伸び悩みというよりも下降中と報道されているように、状況は思わしくない。気温や天候の問題がかなりあったものの、来客数だけでなく単価も悪化気味であり、本当に必要なときに必要な物だけを買うという傾向が強い。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・既存店売上の前年比は、2月がマイナス0.7%、3月がマイナス0.4%、4月が25日現在でマイナス3.3%となった。3～4月は前年よりも気温が低く、雨が多かったため、飲料関係の売上の減少が大きく響いた。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・4月は天候の影響で、春物の売上が昨年より多少少なめで推移した。しかし、単価の高い商品が少し売れるようになってきた。
	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・4月は季節的に売上が落ちる月ではないのに、客からの問い合わせが減っているほか、受注も少なくなっている。

	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・客単価は少々上向きではあるが、ガソリンなどの値上がりの影響で、村外の一般利用客が前年と比べて減少している。		
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・例年4月は客の動きが少ない時期だが、今年は大型連休を前に動きを控えているせいか、特に動きが少ない。		
	タクシー運転手	競争相手の様子	・最近ではオフィスビルの前にタクシーを停車させているが、以前の夕方5時ではなく6時ごろから人の出入りが多くなる。これは残業が増えている証拠であるが、客の動き自体は6時以降でも少ない。		
	タクシー運転手	お客様の様子	・大阪はタクシーの台数が多く、客の数とのバランスがとれていない。		
	遊園地（経営者）	来客数の動き	・例年にない天候不順が続いているため、過去にない来客数の減少となっている。		
	美容室（経営者）	来客数の動き	・天候の影響で客の外出する機会が少なく、身なりを整える必要がなかった。		
	美容室（店長）	販売量の動き	・今月は寒くて日ざしの弱い日が多かったため、セット販売を行っているホワイトニング化粧品の売行きが悪く、昨年と比べて売上が50～60万円減少した。		
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・都市圏の活況に比べて、周辺部ではその影響がまだ表れていない。		
	悪くなっている	一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・販売量や来客数が減少しているが、それがすべて寒さによるものかどうかは分からない。ただ、ここ数日は温かい日になると来客数、販売量共にいくらか増えたので、寒さによる影響は大きい。	
企業動向関連	良くなっている	金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・大型物件から通常物件まで受注の増加が続いている。例年4月は決算後で売上が大幅に減るが、今年は例外的に売上が伸びている。	
	やや良くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・得意先の業種にかかわらず、昨秋から全体的に荷動きが悪くなっていたが、ここに来て全業種の荷動きが少し活発になってきた。しかし、各得意先と話をしても先行きの不透明感が強いことから、昨年と同様に、いつ荷動きが止まるか分からないという不安は残っている。	
		その他製造業〔履物〕（団体役員）	取引先の様子	・取引先である百貨店での売行きが堅調であった。	
		建設業（経営者）	それ以外	・会社、個人共に銀行の融資が受け易くなっている。	
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・土壌汚染調査のニーズが増えつつある。	
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・大手住宅メーカーからは、新たな輸送の依頼が年度末から新年度にかけて徐々に出てきている。さらに、一般荷主の荷物量は増加が続いている。	
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・第三のビールの増税を控え、酒類の配送が増えた。	
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・規模の大きな工場用地や配送センター用地の購入希望が多くなってきた。	
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・引き続き土地の値段は上がっているが、事務所の賃料などの値上げまでには至っていない。景気はやや上向きではあるが、それほど強い状況ではない。	
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前の販促活動で受注が増えているが、2月のパレンタインの時期と比べると、販売量はさほど変わらない。	
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告料がインターネット広告を中心に倍増している。	
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新聞広告の出稿が4月以降活発である。	
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・4月のテレビスポット広告は記録的な売上となった。また、春の労使交渉も例年になくスムーズに終わった。	
		変わらない	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前とあって荷動きは良くなっているが、月前半の荷動きがあまり良くなかったため、景気が良いのが悪いのかは判断が難しい。
			食料品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・菓子業界は例年ゴールデンウィーク前になると受注量が大幅に伸びていたが、今年は全く伸びていない。

	繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・当用買いの増加で、得意先からの注文の予定が立てにくい状況である。注文数は前年よりも20%強減っている。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が増えるどころか、下降線をたどっている。	
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・海外で組立てを行っている自動車の部品の生産が大変忙しい。生産設備の増強もあるなど、自動車に関連した業種は大変な活況となっている。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の値上がりに伴って、製品の見積価格の値上げを打ち出しているが、どこまで浸透するか分らない。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月は受注が大変順調で、短期的にみると大変好調であるが、今月もこのような良い状況が続いている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年内の生産分は受注済みであるほか、追加の商談が入っている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・官庁関係の工事が減少傾向にある。民間工事は増えつつあるが、厳しい価格競争が続いている。	
	輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・今はゴールデンウィーク前の駆け込み的な配達への依頼が多いが、普段の稼働に変化はない。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・読者の拡張活動に力を入れても、今までの購読が止まっていくので、読者数が伸びない。しかし、折り込み広告の動きが堅調なので助かっている。	
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・各社とも年度末決算を終え、確定後の決算書類などの作成が始まっている。例年どおりのペースで入稿しているが、部数の減少がみられるほか、年度初めが土日だったこともあり、各社からの印刷の依頼が多少遅れている。	
	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子	・一部のユーザーの動きは良いが、全体的に金物屋や中小の鉄工所などの動きは良くない。	
	やや悪くなっている	金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・建築業界向けの販売状況が悪い。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・HDD付きレコーダーは堅調な荷動きであるが、好調であった薄型テレビなどの荷動きが一段落するなど、全体的に荷動きが鈍化傾向にある。
		その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年は新入学の時期ということもあり受注量は増えるが、今年は前年よりも10%ほど落ち込んだ。
	悪くなっている			
雇用関連	良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は45か月連続で増加しており、有効求人倍率も上昇していることから、改善傾向が続いている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・学生の就職内定数や企業の採用数が増加している。
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に前年比で2けたを超える大幅な増加となっているほか、有効求人倍率も11か月連続して前年を上回るなど上昇傾向にある。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数は横ばい傾向だが、最近では求人への応募が少なくなってきたので、求人企業が来所して求職者の紹介を依頼するケースが増えてきた。また、非正社員から正社員への求人条件の変更や、将来正社員への登用が可能との条件が追加されるケースが増えた。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年比で約23%の増加となっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は増加傾向を維持している一方、求職者では雇用の安定を希望する在職求職者が増えている。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・来校社数、採用予定数共に大幅に増加しており、企業の採用意欲は確実に上向いている。特に、技術系では時期を問わず選考するので、相談があれば紹介して欲しいとの希望が多く出ている。
学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・平成18年3月の卒業生は就職決定率が過去最高となった。また、採用依頼件数が大幅に伸びている。		

変わらない	人材派遣会社 (経営者)	それ以外	・毎年4月には派遣料金の改定が行われるが、大手企業には前向きに検討してもらえるものの、関西は中小企業が多く、特に大阪は厳しさが目立つ。世間で言われるほど甘くないのが現状である。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・各企業共に新入社員の採用が多く、派遣の依頼は一段落といった感がある。
	求人情報誌製作 会社(営業担 当)	雇用形態の様子	・新規学卒採用の増加は依然として顕著であるが、正規社員と非正規社員のミスマッチがあるほか、地域格差によるマッチングの難しさが加わり、採用戦線の過熱は一部にとどまっている。
	新聞社[求人 広告](担当者)	求人数の動き	・前年に比べるとかなり良くなっているが、前月とは変わらない。売手市場といわれているものの、各企業は予算の減少で無料媒体や安価な媒体を活用する傾向があり、新聞求人広告は横ばい状態である。
	新聞社[求人 広告](担当者)	それ以外	・企業の新聞広告の出稿は前年を下回っている。
	新聞社[求人 広告](営業担 当)	求人数の動き	・求人広告に関する電話での問い合わせが増加している。また、中小企業の人々の動きもやや活発化しているほか、3、4月については、求人数が前年比100%強で推移している。
	新聞社[求人 広告](営業担 当)	求人数の動き	・銀行、損保、生保などで事務系の募集が活発になってきたが、応募者が少ない。
	民間職業紹介機 関(職員)	求人数の動き	・季節的要因もあって求人の落ち込みは激しいものの、回復基調は維持している。
やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-